

上用賀公園拡張計画 第2回意見交換会 ～基本計画の策定に向けて～

令和5年6月23日・24日

世田谷区スポーツ施設課／みどり政策課/災害対策課

区では現在、基本計画の策定に向けて検討を進めているところです。

昨年はワークショップ、オープンパーク、アンケート、基本計画骨子の意見交換会を開催し、地域の皆様から様々なご意見をいただきました。その内容を踏まえ、基本計画の素案として、具体的な導入機能を盛り込みました。

本日は、策定した素案についてご説明させていただいた上で、基本計画の策定に向けてご意見をいただければと思います。

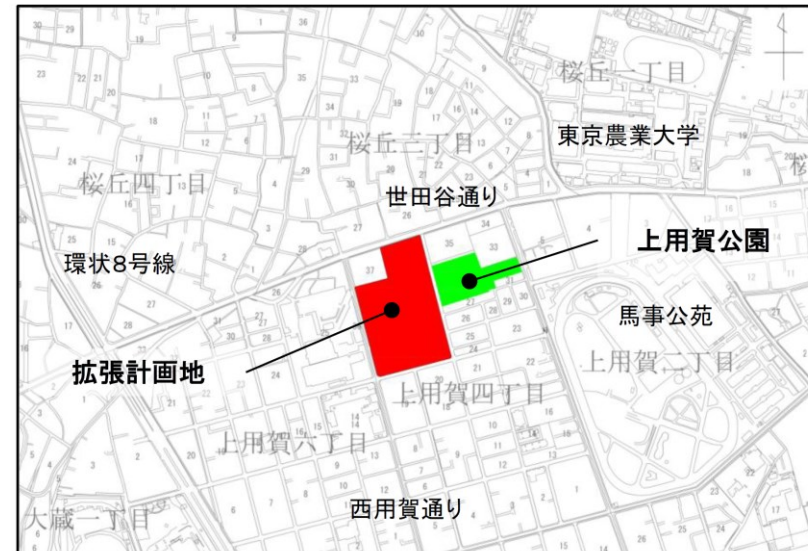
1 これまでの振り返りと基本計画素案について

- ・ これまでの振り返り
- ・ 基本計画（素案）について
- ・ 基本計画策定まで
- ・ 今後の進め方

2 意見交換

1. これまでの振り返り

- 所在地 上用賀四丁目 3 6 番
- 用途地域 第1種中高層住居専用地域 + 準住居地域
- 面積 約 31,000 m² (拡張部分)
- 建ぺい率 60% (都市公園の拡張区域として開設するため、本計画地と既開設の上用賀公園面積合計の最大12%)
- 容積率 200%
- 主な予定施設
スポーツ施設
(体育館、多目的広場)
その他の公園施設
防災備蓄倉庫等



区による用地の取得から基本構想の策定に至るまでの主な経緯は以下のとおりです。

平成27年度

国家公務員宿舎跡地売却決定
上用賀公園拡張に伴う都市計画決定

平成28年度

上用賀公園拡張事業用地の取得（平成28～30年度）
上用賀公園拡張整備基本構想 策定

基本的な考え方

- ①みどりをつなぎ・ひろげる空間づくり
- ②スポーツを中心としたレクリエーションの空間づくり
- ③安全・安心の公園づくり

平成29年度

既存建物解体工事

平成30年度

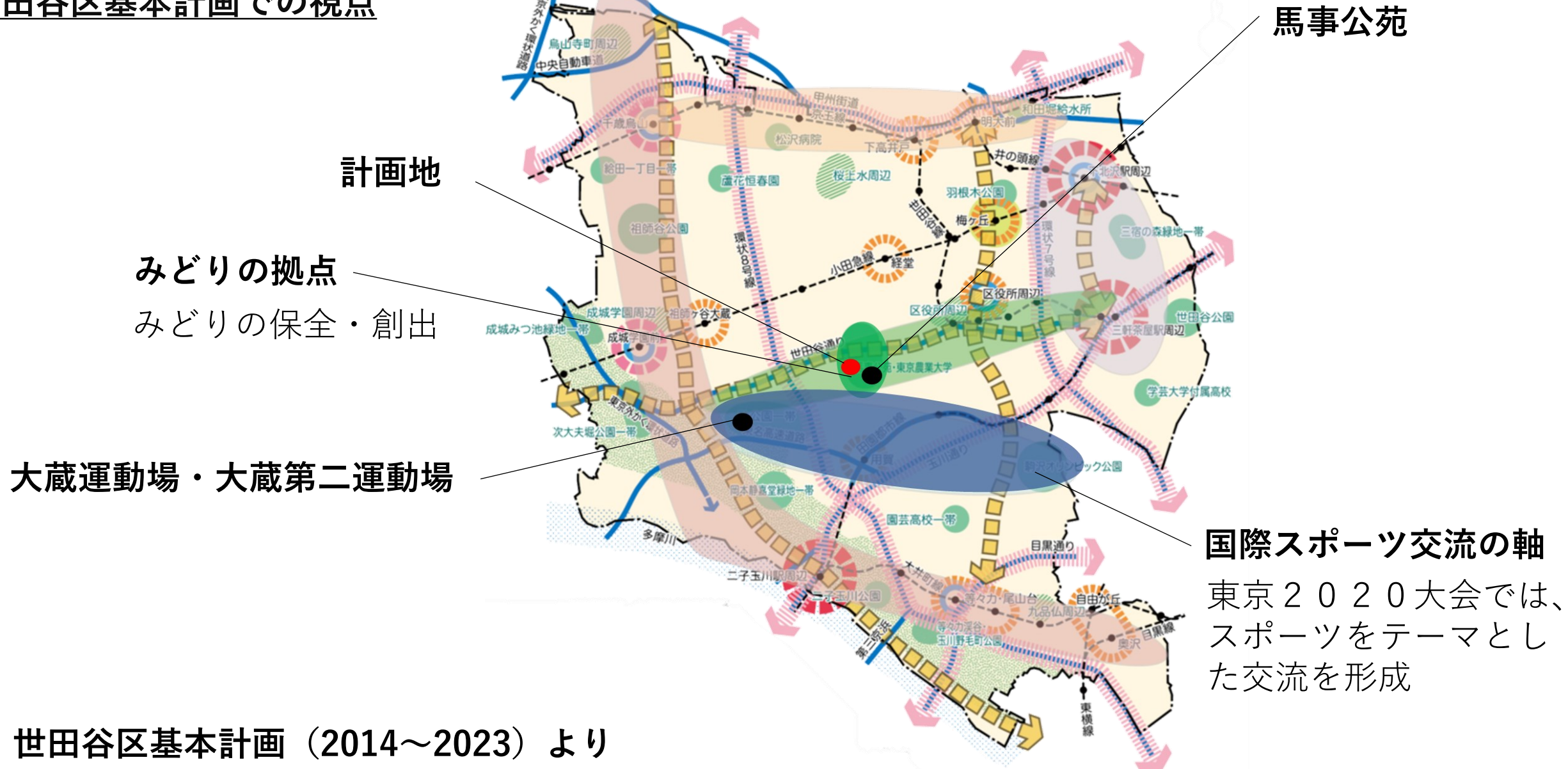
計画検討・各種調査

令和元年度

サウンディング調査・アンケート調査実施
上用賀公園施設整備事業基本構想 策定（令和2年3月）

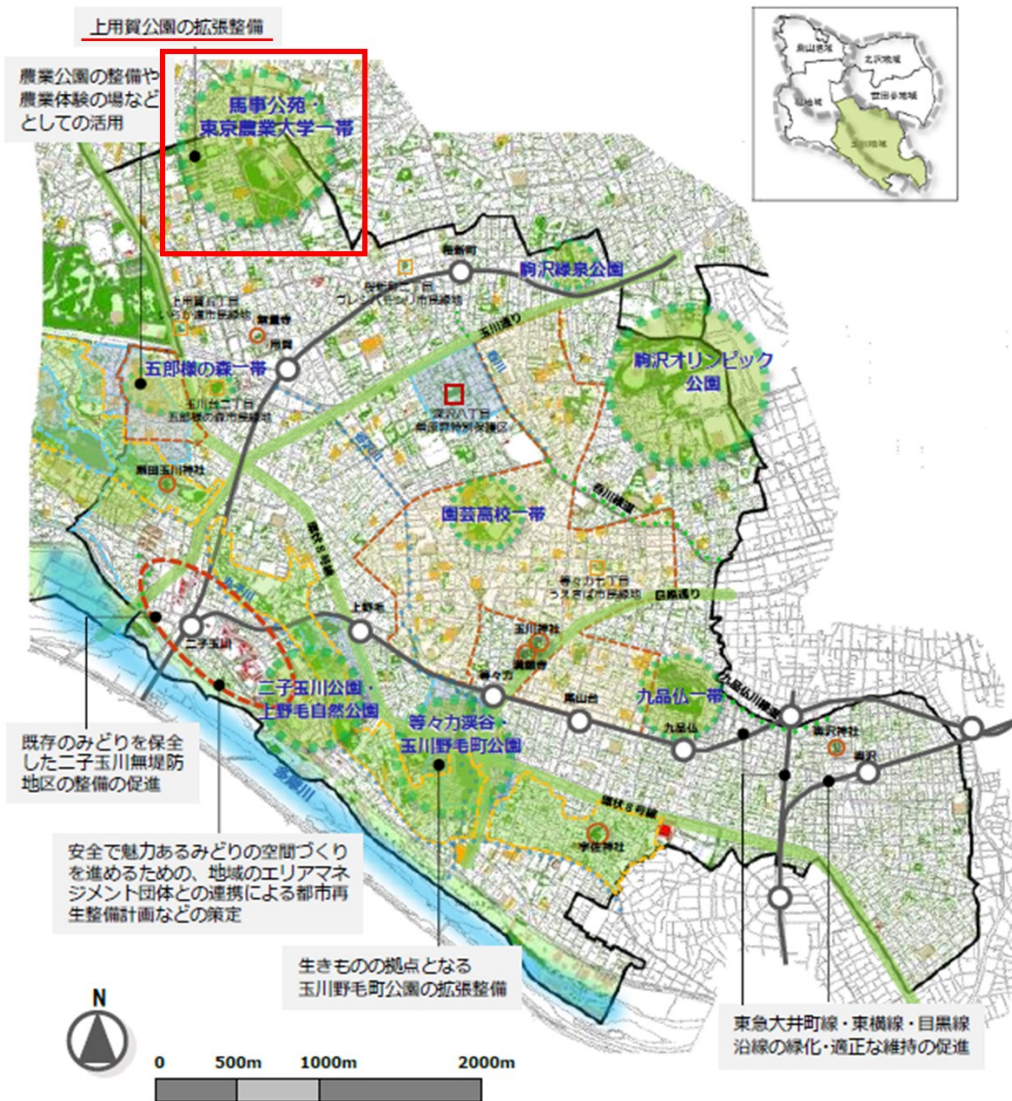
拡張整備の背景（立地）

世田谷区基本計画での視点



拡張整備の背景（みどり）

世田谷区みどりの基本計画（平成30年4月）



計画地を含む周辺一帯

「馬事公苑・東京農業大学一帯みどりの拠点」に位置付けられています。

みどりの拠点

大中規模公園

上野賀公園

広域避難場所

馬事公苑・東京農業大学一帯

まとまりのあるみどり

馬事公苑
東京農業大学

それぞれのみどりの拠点の特徴に合わせて、みどりの保全・創出を進めます。

上野賀公園（拡張整備）での取り組み

- ・ みどりの保全
 - ・ 健康づくり
 - ・ 防災・減災
- に資する整備

拡張整備の背景（スポーツ）

世田谷区スポーツ推進計画（平成26年4月）

基本
理念

生涯スポーツ社会の実現

目標

成人の週1回以上のスポーツ実施率65%以上

※令和3年度時点
約46%

重点的な
取り組み

1. 生涯スポーツの振興
2. 地域スポーツの振興
3. 場の整備
4. **パラスポーツ（障害者スポーツ）の推進**

令和4年3月策定
スポーツ推進計画
（調整計画）より追加

スポーツをしている人にとっても、
これから始める人にとっても、
場と機会の確保が重要

拡張整備の背景（スポーツ）

区のスポーツ施設の課題

既存施設は利用率・
抽選倍率ともに高い

利用率	利用率	
	R2	R3
■：利用率が増加している施設		
大蔵運動場	81.0%	89.0%
大蔵第二運動場	84.7%	79.6%
希望丘地域体育館(1階)	61.7%	80.4%
希望丘地域体育館(3階)	87.0%	89.3%
尾山台地域体育館	89.9%	93.9%
池尻小学校第2体育館	96.1%	93.4%
八幡山小地域体育館	82.8%	100.0%

※1 大蔵運動場、大蔵第二運動場の利用率は、指定管理者事業報告書より

※2 その他施設はけやきネットデータより

抽選倍率	抽選倍率	
	R2	R3
■：倍率が増加している施設		
大蔵運動場	4.68	9.13
大蔵第二運動場	3.57	3.95
希望丘地域体育館(1階)	1.71	2.41
希望丘地域体育館(3階)	4.67	11.08
尾山台地域体育館	6.01	11.09
池尻小学校第2体育館	11.09	12.92
八幡山小地域体育館	4.23	—

※1 八幡山小地域体育館のR3については一般貸出なし

※2 けやきネットより。年間の「当選数/抽選申込数」

グラウンド・中規模体育館
近隣の自治体と比べても少ない

※単位（面数、面積）あたりの人口比較

グラウンド

世田谷区：114,643人/面

近隣7区市平均：55,223人/面

近隣7区市の
約2.1倍

体育館（フロア面積400㎡以上）

世田谷区：161人/㎡

近隣7区市平均：96人/㎡

近隣7区市の
約1.7倍

※スポーツ施設課調べ

大蔵運動場・大蔵第二運動場
再整備

世田谷区内で区が整備している中規模体育館は大蔵運動場・大蔵第二運動場のみ。

施設の老朽化や多様化するスポーツ施設へのニーズを背景に、今後、施設の再整備を検討していく必要がある。

基本構想における3つの基本方針を踏まえて、計画検討を進めてきました。

(仮称) 上用賀公園拡張施設整備事業基本構想 (令和2年3月策定)

①みどりをつなぎ・ひろげる空間づくり

- ・ 既存の緑、地形を活かした施設整備、景観形成
- ・ 地域の魅力を高める施設の整備

②スポーツを中心としたレクリエーションの空間づくり

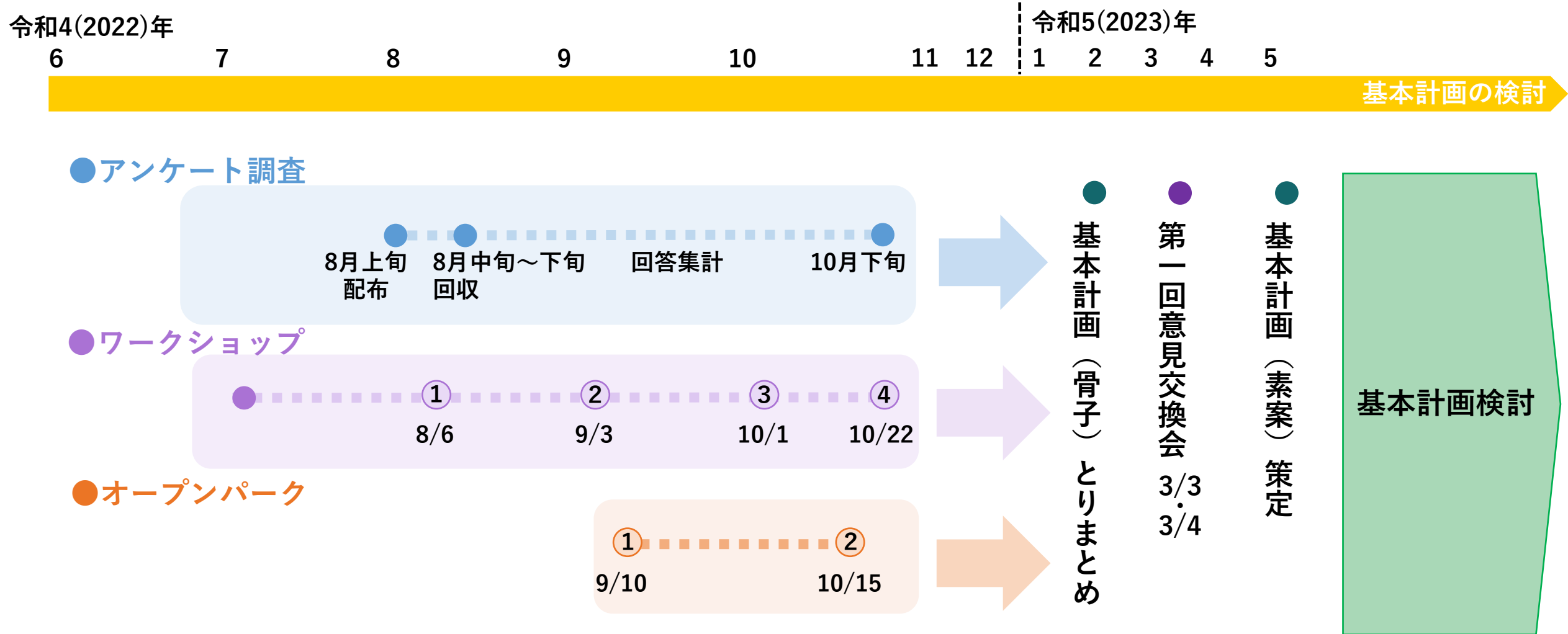
- ・ 区民大会など全区的な大会が可能な体育館の整備
- ・ 多様なスポーツやレクリエーション活動ができる多目的広場の整備
- ・ いつでも、だれでも健康づくりやコミュニティ活動が可能な施設の整備
- ・ パラスポーツの推進につながる施設機能の確保
- ・ 丁寧な情報提供や意見交換の実施、住環境に配慮した施設計画
- ・ 区立スポーツ施設としての公平なサービスの提供

③安全・安心の公園づくり

- ・ 公園広場や体育館など広い空間を活用した、災害時における広域避難場所やその他災害応急活動に資する施設機能の整備
- ・ 平常時における防災訓練等、地域の防災活動が可能なスペースの確保
- ・ セキュリティやユニバーサルデザインに配慮し、だれもが安全・安心に利用できる公園づくり

これまでの取組み状況

基本計画に反映するため、昨年度、主に3つの手法（アンケート・ワークショップ・オープンパーク）を通じて地域の皆様のご意見をお伺いしてきました。



公園に求められる機能・空間

これまでワークショップ等を通していただいたご意見から公園に求められる機能・空間について整理しました。

基本方針	施設	区として整備が必要な施設 (決まっている内容)	ワークショップ等を通して頂いた主なご意見	公園に求められる 機能・空間
安全・安心の 公園づくり	防災機能	防災広場 (建築物や遊具がない オープンスペース・広場)	防災テント、防災倉庫、ヘリポート かまどベンチ、防災シェルター、マンホールトイレ、ソーラー照明、防災パーゴラ	災害時に利用可能なファニチャー類 平時はイベント等で利用可能な空間 等
	防犯機能		防犯照明、見通しの確保、管理人の配置	しっかりとした防犯対策
みどりをつなぎ・ ひろげる空間づくり	広場		芝生広場、水遊び場、様々な年齢にあった遊具、 ベンチやテーブルなどの休憩施設、 ツリーハウス	年齢別の遊び場 休憩・憩いの空間 等
	樹木・緑地		多くの樹木、ビオトープ、自然学習 花壇、生物や水に触れ合える空間	既存樹木を保全し、自然と触れあえる場 等
	その他		カフェ、トイレ、時計、ドッグラン、水飲み 使いやすい歩道整備、自動販売機、BBQ場	公園の利便性向上に資する施設 等
スポーツを中心としたレクリエーション の空間づくり	体育館	スポーツができる アリーナ	集会所、トレーニングルーム フィットネス・ヨガスタジオ、図書スペース 屋内での子どもの遊び場、温浴施設・シャワールーム	多様なスポーツで利用可能な空間 スポーツ施設利用者以外にも利用可能な空間 等
	多目的広場	スポーツができる 屋外広場	テニスコート、スケートパーク サッカー・フットサル、ボール遊び、 グラウンドゴルフ、野球・キャッチボール、 バドミントン	多様なスポーツで利用可能な空間 ボール遊びのできる空間 等
	その他		ランニングコース、健康遊具 ウォーキングコース、ラジオ体操	健康づくりに資する空間 等

<p>施設の配置について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場をメインエントランス側に拡張してはどうか ・世田谷通り沿いをメインエントランスにした場合、渋滞が発生するのではないか ・体育館は関東中央病院側に作ってほしい（住宅が近いため）
<p>施設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー・車いす利用についても考慮してほしい ・敷地全体を使った散歩道やランニングコースがあるといい ・管理された広大な芝生広場が欲しい ・公園内の喫茶、食事スペースは是非作ってほしい ・防災拠点機能、豪雨対策、雨水貯留施設等に力を入れた公園作りをしてほしい ◆体育館など建物・スポーツに関すること <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ周辺環境やみどりに溶け込むよう木材等を使ったデザインなどを検討するべき ・ダンスができる防音性を備えた集会室が欲しい ・障害者スポーツでも利用できるようにしてほしい ・建物は高さをなるべく抑え、できるだけ地下化してほしい ◆防災に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・ヘリポートについても最初から想定していただき、安全安心の大きなプロジェクトとして行ってほしい ・多くの住民のための公園、広域避難場所としての機能を重視するべき ◆駐車場に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・車の出入りは西用賀通り沿い・駐車場沿いとし、公園内を車が通らないようにするべきではないか。 ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂の運営団体も利用できるようにしてほしい。 ・ランドスケープとしての水景や透水舗装、体育館に降った雨水の再利用等を検討してほしい ・世田谷通りの安全性についても検討してほしい。

施設の運営について	<ul style="list-style-type: none">◆公園に関すること<ul style="list-style-type: none">・健康増進型の公園として、関東中央病院が横にあるのがおおきなポイントとして考えられる。ヘリポートのみでなく、ソフト面での連携も模索してほしい◆防犯・安全対策に関すること<ul style="list-style-type: none">・既存開園地との間の道路の安全性についても検討してほしい・常時開放するのであれば24時間巡回体制を整えるべき◆駐車場や車両の通行に関すること<ul style="list-style-type: none">・駐車場入口が西用賀通り沿いにできるのであれば、待機車両等で救急車両の邪魔にならないようにすべき・世田谷通りに横断歩道を設置してほしい・既存公園との横断箇所には車が減速する仕組みを作るべき◆施設整備・運営に関すること<ul style="list-style-type: none">・運営について、PFIを進めるとエントランスもスペースがあることによって民間ノウハウが活かせるのでいいと思う。ただし、民間と区のやり取りの中で地元は排除されてしまうのか。民間業者選定のプロセスに地元住民が入るという方式でやるといいのではないか。
その他	<ul style="list-style-type: none">◆計画全般について<ul style="list-style-type: none">・今回の意見交換会に子供がいないが、実際に遊ぶ子供たち、近隣の学校などから意見を拾う動きがあるといいのではないか・世田谷Payなどのアプリを機能拡張し、歩数・距離をカウント、イベント参加で得点が獲得できるなどしたら、公園も活かせるし地元も盛り上がるのではないか・医療、ヘルスケア、駐車場、防災などの面で関東中央病院とは密に連携してほしい・開園時期のデジタル環境を意識したインフラづくりをしてほしい◆暫定利用に関すること<ul style="list-style-type: none">・暫定整備のお知らせがあるが、場所はどのあたりになるのか。・ダスト舗装とはどのような舗装か

2. 基本計画（素案） について

- **基本構想の基本方針を踏まえ、以下の3つの要素を調和・連携させる。**
 - ① 災害時を想定した利活用や利用者の安全、治安維持など、誰もが安心して利用できる公園づくり
 - ② みどりの保全・創出、健康増進、レクリエーション・遊びの場、コミュニティ形成に資するみどりの質の向上
 - ③ スポーツの場の整備やパラスポーツの推進を通じた生涯スポーツ社会の実現を体現する公園・スポーツ施設
- **計画地が、良好な住環境を保護する中高層住宅地であり周辺が閑静な住宅地であることや、「上用賀四丁目地区地区計画」の土地利用方針である公園と住宅が調和した地区の形成に配慮する。**
- **緊急輸送道路（世田谷通り）に接することを踏まえ、区の防災拠点としての機能を備えることを検討する。**

取組方針や地域の方からのご意見を踏まえ、上用賀公園拡張事業における整備コンセプトを定めました。

●整備コンセプト

つくる つながる ひろがる

- ・ 安心をつくる：平時とは違う災害時の顔をもつ安全・安心の空間
- ・ 交流をつくる：住民同士、多世代の交流がうまれる空間
- ・ 健康をつくる：日常的な活動からスポーツまで、心身の健康づくりの空間
- ・ この空間で人と人がつながる、人と社会がつながる、地域の力が強くなる
- ・ 個々の世界がひろがり、人生がより豊かになる

取組方針、コンセプトを基に、以下のとおり、大きく3つのゾーンに整理しました。

① エントランスゾーン

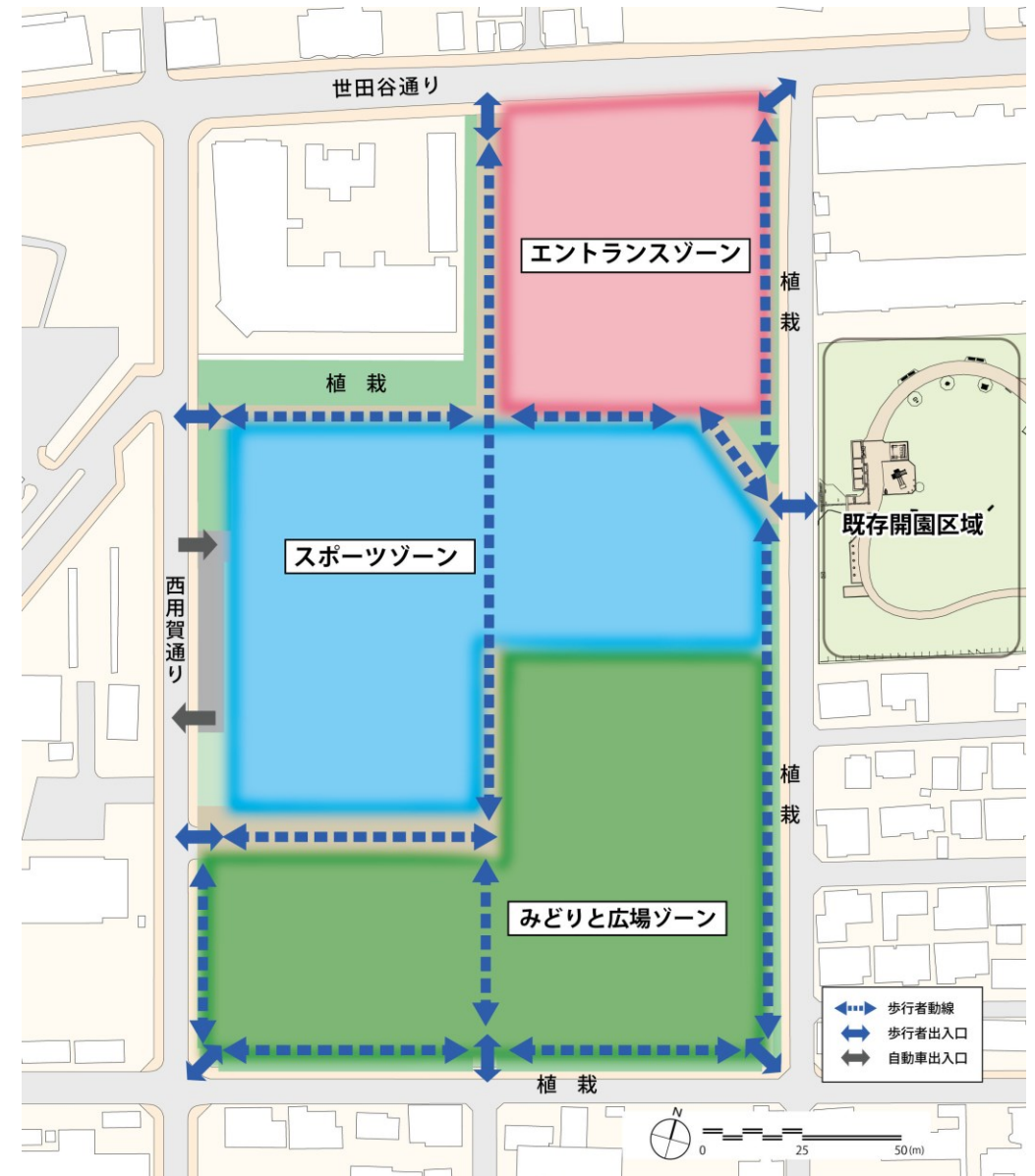
幹線道路であり、人々が多く行き交う世田谷通り沿いに面する北側を公園のメインエントランスとします

② みどりと広場ゾーン

東側の既存樹林地を保全し、既存樹林地から南側にかけて公園利用者が様々な使い方ができる連続した広いオープンスペースを確保します。

③ スポーツゾーン

敷地の中央にスポーツ施設を配置し、様々なスポーツや健康づくりができる空間や、地域住民・多世代の交流ができる場とします。

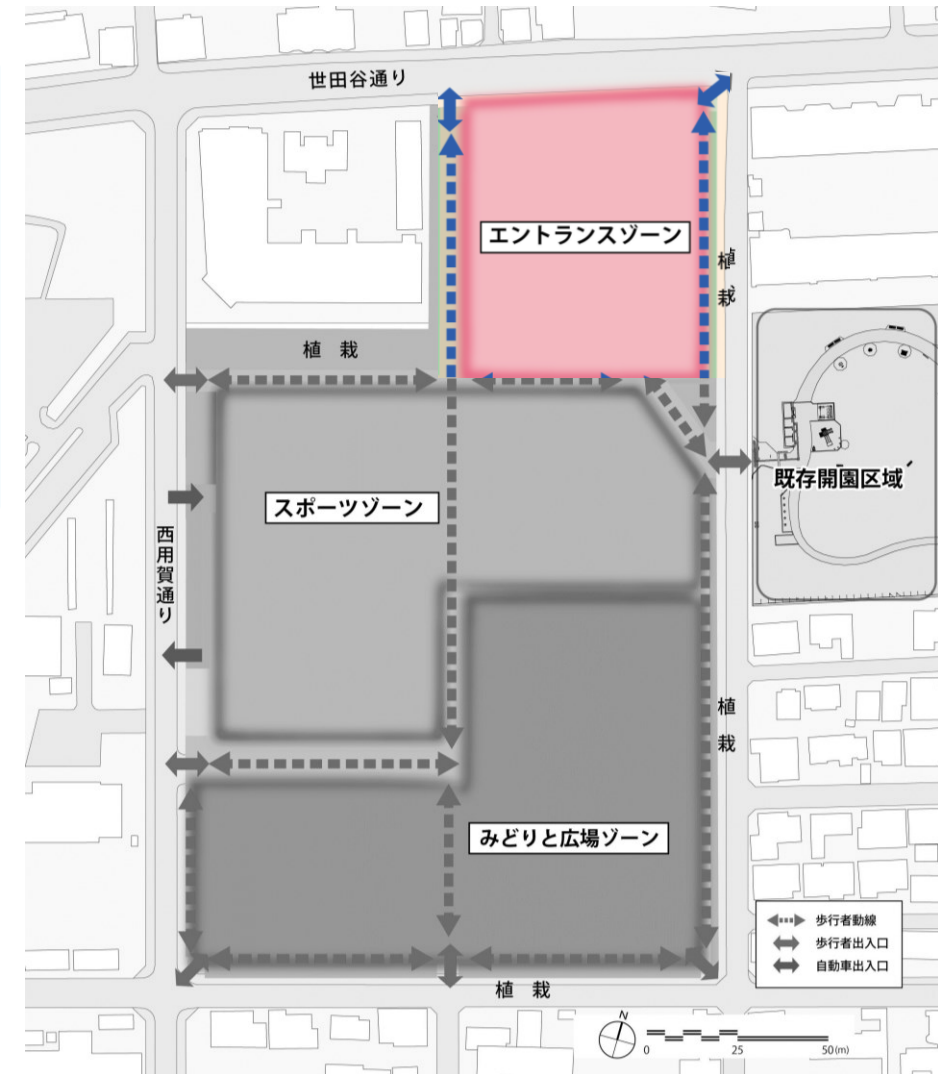


各ゾーンに導入する施設と機能（素案p38）

ゾーン	施設	想定する導入機能
エントランスゾーン	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄れる空間 ・カフェ・ベンチ等のある憩いの空間 ・地域のイベント等に活用できる空間
	植栽、緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺との緩衝帯のための植栽
スポーツゾーン	体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・全区レベルの競技大会等の開催が可能なアリーナ 等 ・発災時に区の災害対策拠点として機能できるスペース
	多目的広場	<ul style="list-style-type: none"> ・球技やボール遊びができる空間 等
	植栽・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺との緩衝帯のための植栽
みどりと広場ゾーン	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児や小学生などの子どもたちがのびのびと遊べる空間 ・発災時に避難等で利用できるオープンスペース
	植栽・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・既存樹木の保全 ・自然観察や散策できる空間 等

◆ エントランスゾーン

- 地域住民の憩いの場や健康増進に資する空間を設ける。
- カフェなどの公園の魅力や利便性を高める便益施設の導入を検討する。



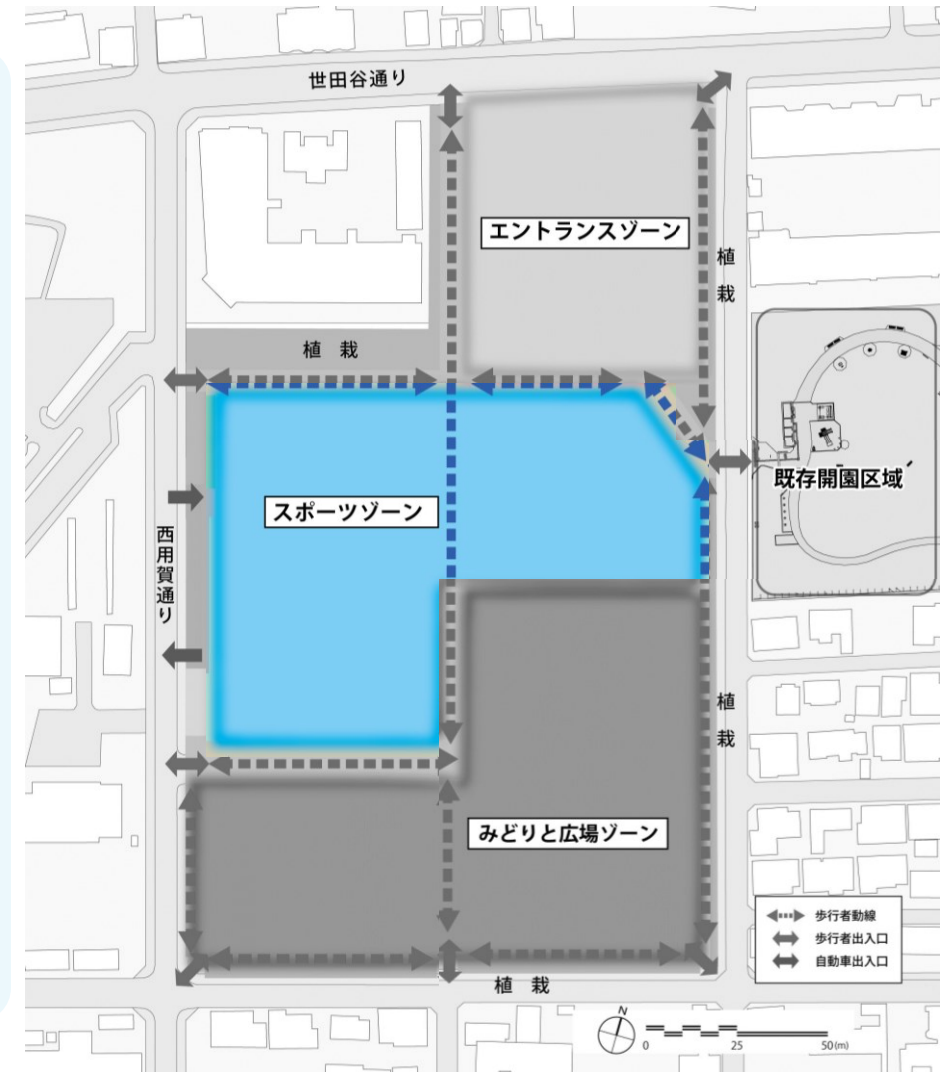
◆スポーツゾーン

【体育館】

- 公園とスポーツ施設の一体的な利用や災害時の体育館と防災広場、関東中央病院との連携を考慮するとともに、近隣への影響にも配慮し、拡張計画地の西側（関東中央病院側）に配置する。
- 高低差がある地形を活かし、体育館の地下相当には、駐車場及び区の防災機能としての災害時に活用可能な大規模備蓄倉庫を設ける。

【多目的広場】

- フットサルコート2面分程度の広場を設ける。
- 近隣への騒音対策を講じる。
- 子どものボール遊びなど多様な利用ができるよう、団体利用だけではない運用を行う。



◆みどりと広場ゾーン

- みどり豊かな空間とし、多様な使い方が可能な広場とする。
- 災害時の利用を想定し、関東中央病院、体育館に隣接する拡張計画地の南西側には防災機能を備えた広場を整備する。
- 既存樹木は保全する一方で、適切な診断の上、危険な老朽樹木等については更新する。
- 自然に触れあいながら散策可能な園路を整備する。



◆公園全体の機能

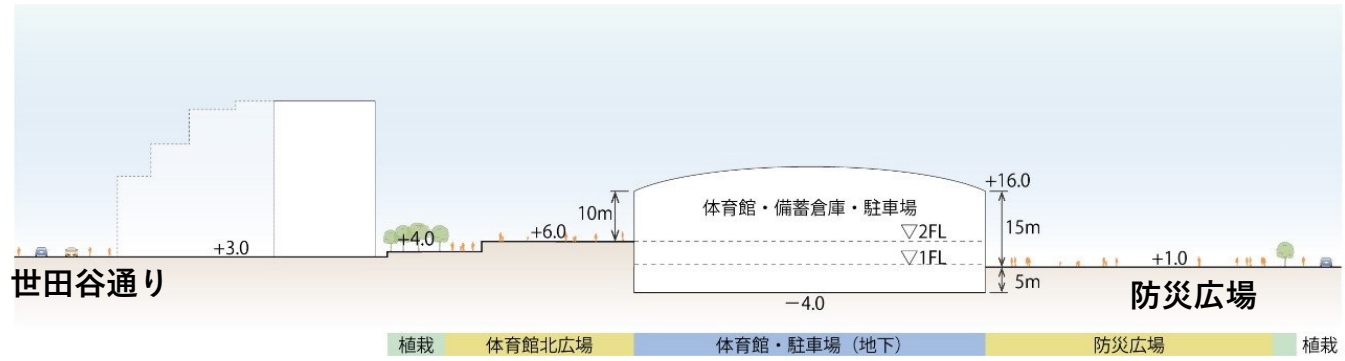
- 植栽やエントランス部分の配置などにより、開園区域との一体性を持たせる計画とする。
- エリア全体を通し健康づくりに資するウォーキング・ランニング等が可能な園路計画とする。
- 周辺との緩衝帯として、植栽を設ける。



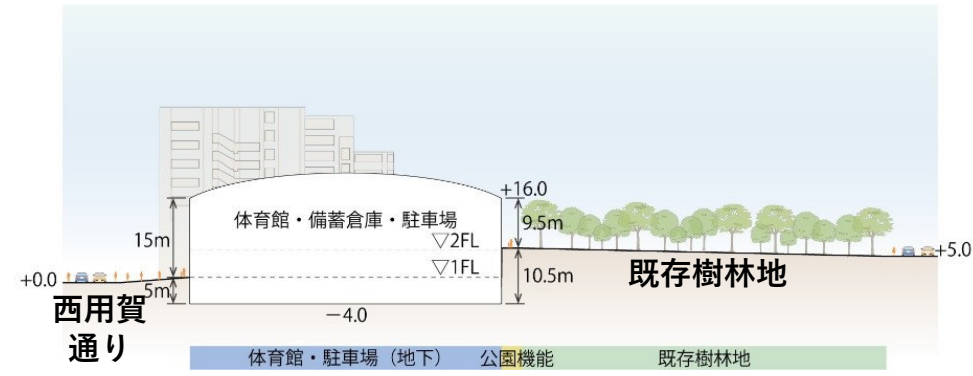


導入機能や配置の考え方を基に、上用賀公園拡張計画地のゾーニング図を取りまとめました。

■ A-A'



■ B-B'



エントランスゾーン (素案p43~44)

●公園のメインエントランスとして、現状の高低差のある地形を活かした魅力ある空間を創出します。



イメージ図

【ゾーン全体の利用イメージ】

高低差を活かし、上部（いこい・交流の広場）と下部（メインエントランス）で利用方法を変化させます。

民設カフェ等の公園の魅力をも高める便益施設の誘致を検討し、人々が交流を楽しんだり、大人も憩える空間とします。

メインエントランス

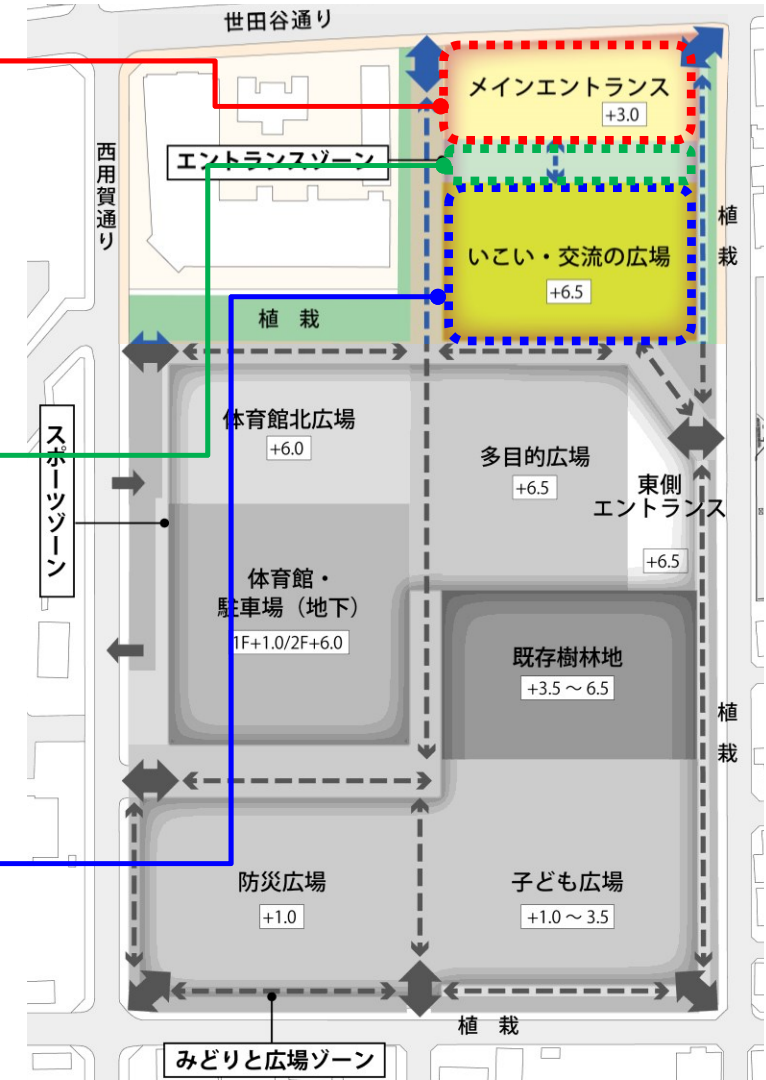
世田谷通り沿いから公園内へ視線が抜ける見通しのよい開放的な空間とします。

園路

高低差のある空間を安全に行き来できるように、バリアフリーに配慮した園路やスロープを設けます。

いこい・交流の広場

ヨガの開催やテラス席等、大人も楽しむことのできる広場を創出します。



●メインエントランス

- ・世田谷通り沿いと同一レベルに広場を形成し、歩行者が交流や休憩ができる空間を創出します。
- ・世田谷通り沿いから視線が抜けることによる開放感に加え、園名板や植栽によりエントランス空間としての演出を行います。
- ・キッチンカーや各種イベント等が実施可能な設えとします。

【想定される導入施設のイメージ】



ベンチ

出典：株式会社コトブキHP



看板・モニュメント

出典：大阪観光局HP



花壇・植栽

出典：国営武蔵丘陵 森林公園HP



キッチンカー

出典：Good Design Award HP



●いこい・交流の広場

- 公園北側の上部空間「いこい・交流の広場」では、民設カフェ等のサービス・便益施設の誘致を検討するエリアとし、テラス席を設けるなど、子どもから高齢者までの幅広い世代が憩える場を創出します。

【想定される導入施設のイメージ】



芝生

出典：Good Design Award HP



テラス席

出典：大阪観光局HP



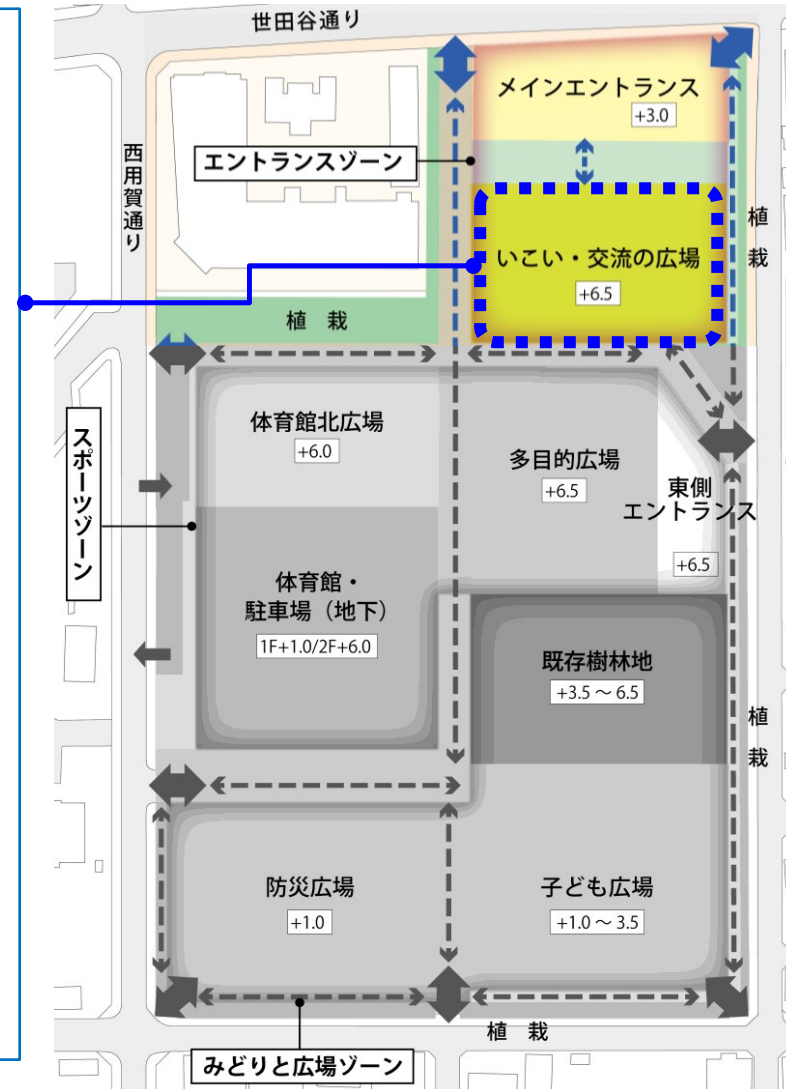
植栽 (目隠し)

出典：国営武蔵丘陵 森林公園HP



便益施設 (カフェ等)

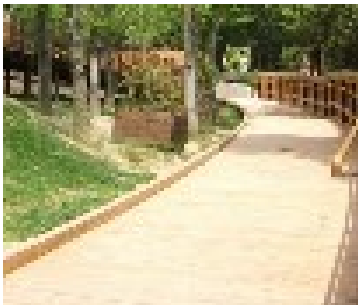
出典：UR都市機構HP



●園路（スロープ）

- ・メインエントランスといこい・交流の広場には高低差が生じるため、バリアフリー対応のスロープにより上下空間を円滑に移動できるようにします。
- ・植栽や階段の設置により、世田谷通り沿いから見た際のアイストップとして、地域の景観形成に寄与するデザインとします。

【想定される導入施設のイメージ】

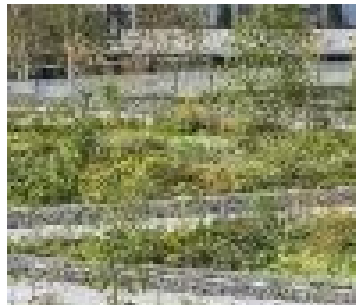


バリアフリー対応
スロープ

出典：株式会社総合技術研究所P



階段



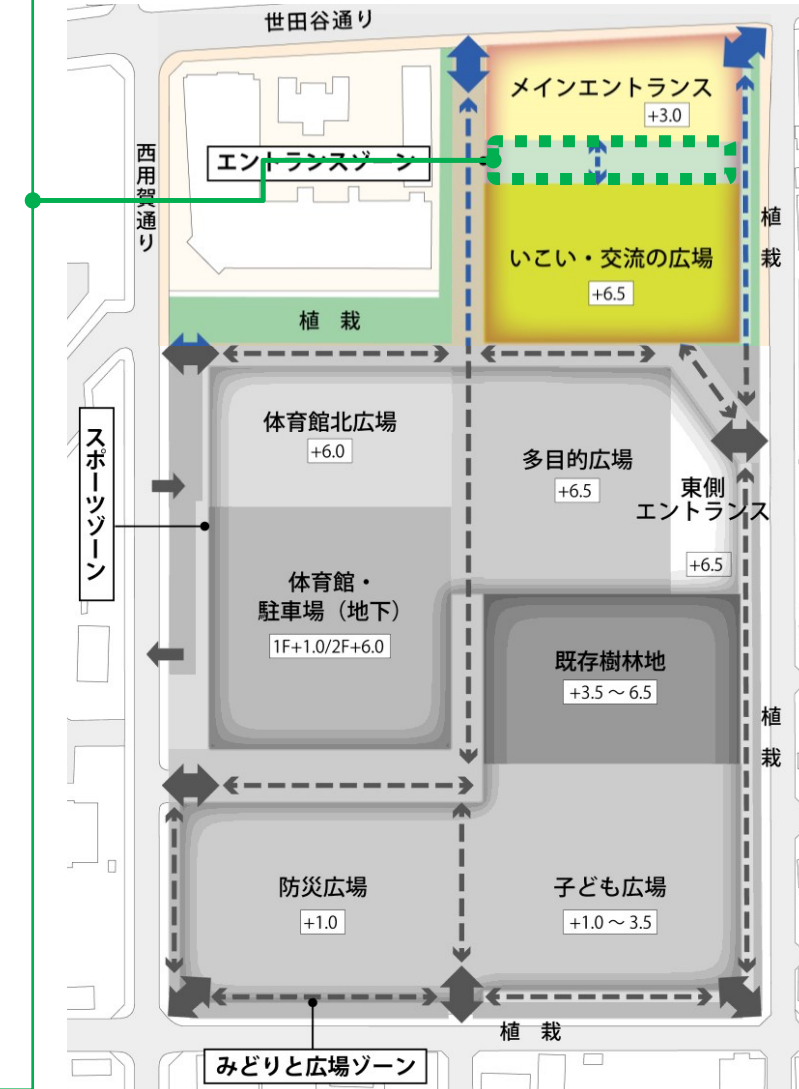
植栽

出典：プレイスメディアHP



ベンチ

出典：Good Design Award HP



●現状の高低差のある地形を活かし、住環境に調和した区の拠点スポーツ施設としての空間を創出します。



イメージ図

体育館北広場

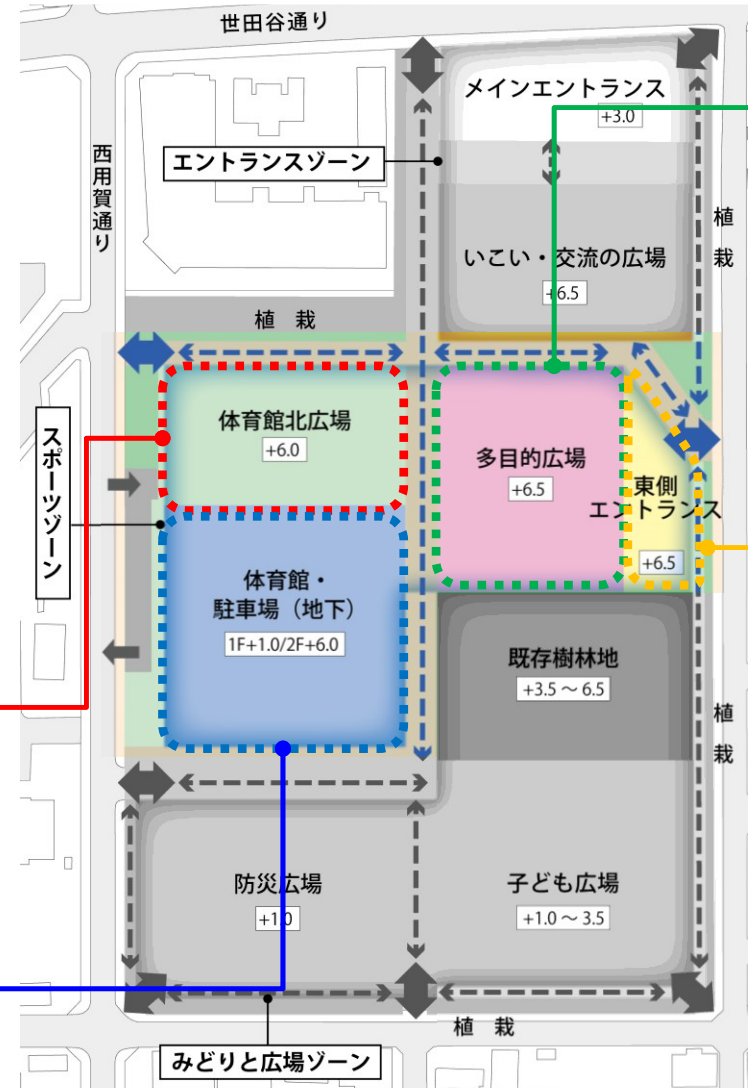
体育館北側には、スポーツ施設利用者に加え地域の方々が多様な使い方ができる広場空間を整備します。

体育館・駐車場（地下）

区民体育大会等の全区的な大会開催が可能な拠点スポーツ施設として「中規模体育館」を整備します。



出典：NPO法人スポーツクラブあらいHP



多目的広場

地域のスポーツ利用者（フットサル・サッカー・その他）への貸し出しによる利用と地域の子もたちがボール遊びを行える広場を整備します。



出典：新宿中央公園

東側エントランス

植栽や広い出入口の設置などにより、既存開園区域との一体性を考慮した設えとします。

みどりと広場ゾーン (素案p46~47)

●既存の樹木などを活かし自然と触れ合い、子どもたちがのびのびと遊べ、多世代が交流できる空間を創出します。



イメージ図



防災広場

構造物等がないフラットな広場とします。

既存樹林地

既存植栽の保全と自然に触れあえる空間を形成します。

子ども広場

広場や遊具を配置し、子ども達のがのびのび遊べる空間とします。

●防災広場

- ・発災時に避難等で利用できるオープンスペースとします。
- ・平常時は遊び・イベントなど多様な使い方ができる大きな広場を整備します。
- ・災害時には救命活動等に用いるためのヘリコプターが着陸可能な計画とします。

【想定される導入施設のイメージ】



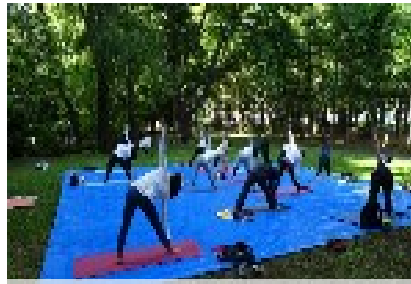
防災トイレスツール

出典：株式会社コトブキ



かまどベンチ

出典：株式会社コトブキ



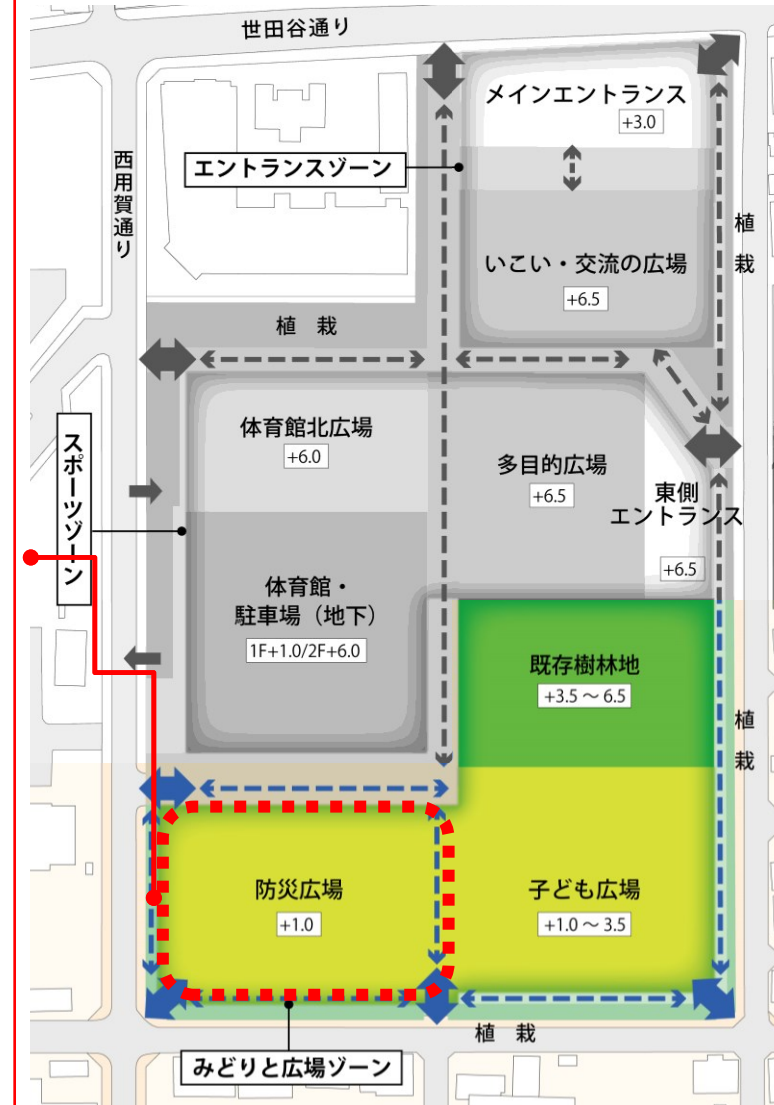
ヨガ等のイベント利用

出典：円山公園HP



日常的な利用

出典：豊島区HP



●子ども広場

- ・ 様々な年代の子どもたちが自由にのびのびと遊べる広場とします。
- ・ 馬事公苑や既存開園地などの周辺公園と棲み分けを行います。
- ・ 保護者の見守りスペースや熱中症対策として休憩施設や木陰を設けます。

【想定される導入施設のイメージ】



複合遊具

出典：国営昭和記念公園HP



木製遊具

出典：埼玉県公園緑地協会HP
みさと公園



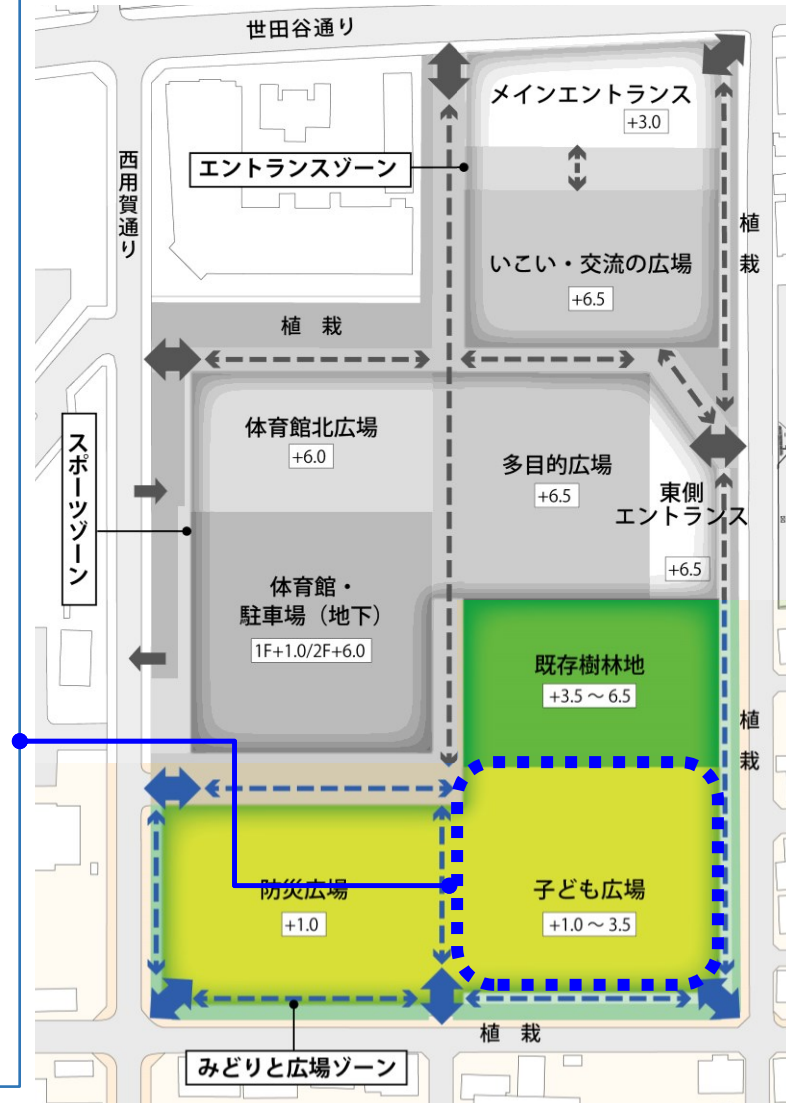
ふわふわマット

出典：国営昭和記念公園HP



休憩施設（四阿・テーブル・イス）

出典：株式会社コトブキ



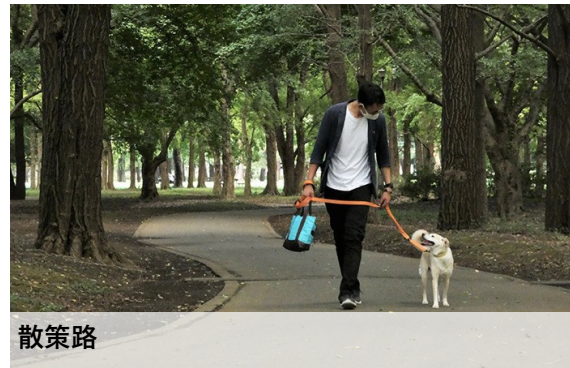
●既存樹林地

- ・ 既存樹木を保全し、みどり豊かで自然観察など自然に触れ合える空間や緑の中で憩える空間とします

【想定される導入施設のイメージ】

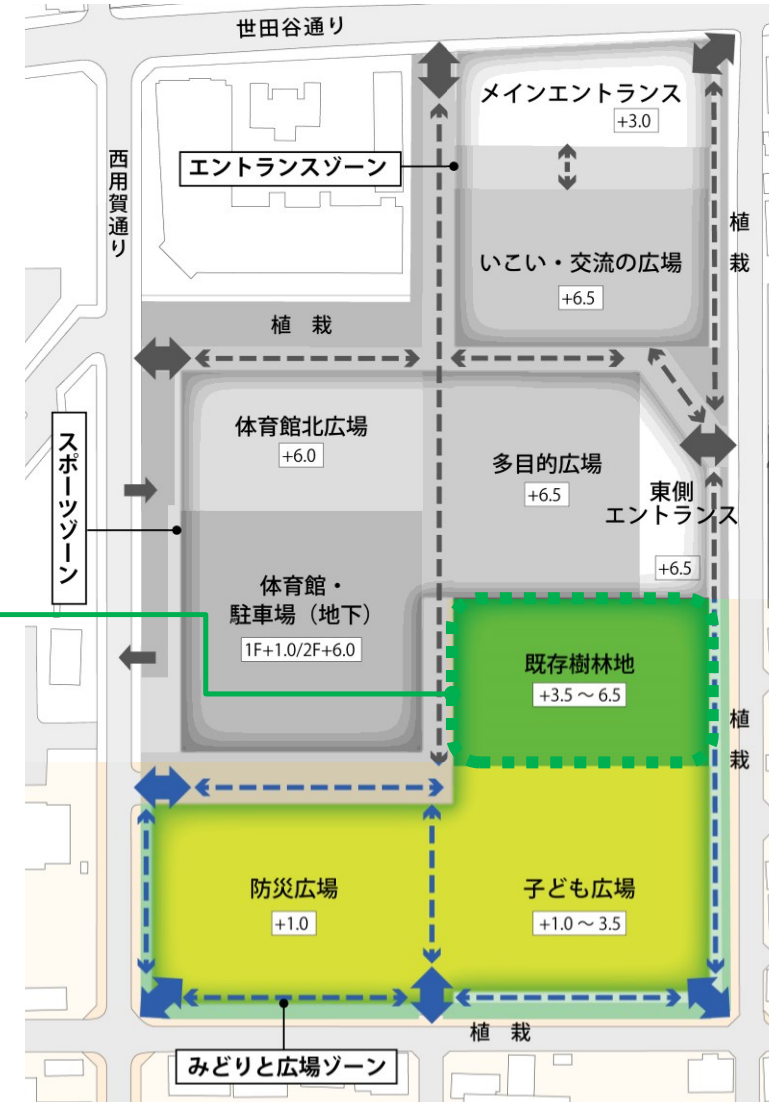


樹林広場



散策路

出典：むさしの都立公園



1. 導入を想定する防災機能

緊急輸送道路である世田谷通りに面し、広域避難場所として指定されていることを踏まえ、区の防災拠点としての機能や地域防災としての機能を確保します。

- ① 体育館内に**大規模備蓄倉庫を設置**します。
- ② 体育館は、アリーナを災害時の物資集積場所として活用することを想定し、**大型トラックの進入が可能な計画**とします。
- ③ 公園エントランス等には、**災害ボランティア等の活動拠点**となるスペースを設置します。
- ④ 防災広場は、緊急時、救命活動等に用いるための**ヘリコプターが着陸可能な計画**とします。また、必要に応じて警察・消防・自衛隊の部隊等の広域活動拠点として活用することを想定した計画とします。
- ⑤ 災害発生時においては、**関東中央病院と連携した災害救護活動**等ができるような機能を想定します。
- ⑥ その他、地域防災の機能として、かまどベンチやマンホールトイレなどの**災害時に活用可能な機能の導入**や、消防団の活動拠点となる**消防団分団本部の設置**を検討します。

【災害時の利用イメージ】

場所	発災1～3日	4日～6日	1週間後	2週間後	3週間後
アリーナ及び備蓄倉庫	物資集積・備蓄物資搬送準備、搬送等				
公園エントランス等	広域避難場所	ボランティア等の活動拠点			
公園内の広場		警察・消防・自衛隊の部隊の活動拠点等			



災害時の活動拠点イメージ
（出典：総務省消防庁HP）



緊急時のヘリコプター利用イメージ
（出典：東京消防庁HP）

2. 大規模備蓄倉庫の整備

全区的な防災拠点の機能の一つとして、東京都からの寄託物資や避難所で使用するための段ボールベッド、間仕切り（テント）等を保管可能な大規模備蓄倉庫を整備します。

【物資の保管に必要な倉庫の面積】

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ・ 東京都からの寄託物資等 | 約 1, 0 0 0 m ² |
| ・ 指定避難所用間仕切り（テント） | 約 5 0 0 m ² |
| ・ 指定避難所用段ボールベッド | 約 5 0 0 m ² |



（出典：海老名市HP）



（出典：松本市HP）

3. 雨水流出対策

雨水流出対策については、周辺道路への冠水被害等が発生しないよう**適切な浸透施設・貯留施設を設置**します。また、雨水流出対策においては**グリーンインフラ**の観点も踏まえ検討します。



地下浸透貯留施設
（出典：(株)クロスウェーブHP）



レインガーデン（出典：竹中工務店HP）

1. 施設計画の検討（体育館）

(1) 体育館整備の考え方

現在、区民のスポーツ大会などは、大蔵運動場体育館や大蔵第二運動場体育館などで行われていますが、アリーナの広さが狭小のため、限られた期間で試合を消化しなくてはいけないなど、大会スケジュールを工夫しながら実施している状況です。また、開催できる種目も広さの関係で限られている状況となっています。こうしたことも踏まえ、今後、令和13年に築65年を迎える大蔵運動場体育館等との機能分担も図りながら、区の拠点スポーツ施設として全区レベルの競技大会等が開催可能なアリーナ面積を持つ中規模体育館を整備します。

なお、多様な種目の大会や同時に複数の試合の開催が可能となるよう、体育館は公式ハンドボールコート一面やバスケットボールコート2面と公式バレーボールが開催できる広さとし、バレーボールを行う際、天井の高さは12.5m程度必要なため、アリーナの天井の高さは15m程度とします。

中規模体育館：全区レベルの競技大会等が開催可能なアリーナ面積を持ち、体育室等多目的にスポーツ可能な施設を併設する規模

誰もが多様な運動の機会やスポーツを通して多世代が交流できるようトレーニングジムやスタジオ、多目的室等多様な活動が実施できる空間を整備します。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、パラスポーツ推進への活用につながる施設整備が必要です。

これらの状況を踏まえ、基本計画における施設整備の基本方針を次頁のとおり設定します。

□ 体育館整備の基本方針

- ① 体育館エントランス、多目的室などの活用により地域に開放された体育館とするとともに、区民の誰もが安心して利用でき、スポーツを中心としたレクリエーションを楽しめる体育館
- ② 区民大会に対応した、地域の交流拠点となる体育館
- ③ 環境に優しく、災害時も持続可能な体育館

(2) 耐震性を確保し長寿命化が可能な施設

体育館は災害時における「防災拠点」として、災害時にも機能を維持することが可能な耐震安全性を目標とする。

(3) 防災拠点として地域の安心安全を守る施設

- 自家発電設備や蓄電池等を整備します。
- 受水槽方式とし、水槽内の水は災害時に利用できるようにします。また、雨水等の利用を検討します。

(4) 効率的な運営が可能な体育館

- ① 施設管理・利用受付の一元化
- ② 可変性のある施設整備
- ③ 施設の多目的化

(5) 配置計画前提条件検討

- 体育館エントランスは、公園の賑わいの中心になる1階南側防災広場側とします。
- パラスポーツの団体利用を想定し、雨風等にも影響を受けずに利用できるよう、高低差のある地形を活かし、一部地下化した駐車場を整備します。
- 公園の地盤高さの関係で、2階北側広場から入ることができるため、体育館北側広場側にも入口を設けます。

(6) 体育館の概要

体育館の想定規模、機能は以下のとおりです。

- 建築面積：約4,100㎡
- 延べ面積：約12,800㎡
- 階数：地上3階、地下1階

表 諸室表

階	室名	備考
1~3F	会議室	30人～50人利用可能。可動間仕切りで2室利用可。
	浴室	浴室、脱衣、リラックス室等
	観覧席・通路	600席以上
	トレーニングルーム	ストレッチ・受付等含む
	スタジオ	最大50名程度利用可能。ヨガ、エクササイズ等。スタッフ控室含む
1F	アリーナ	有効48m×36m 公式バスケットボールコート2面。総合運動場と同規模
	消防団用の車庫兼格納庫	80㎡程度 分団本部機能等
B1F	駐車場	50~70台程度
	大規模備蓄倉庫	2,000㎡程度

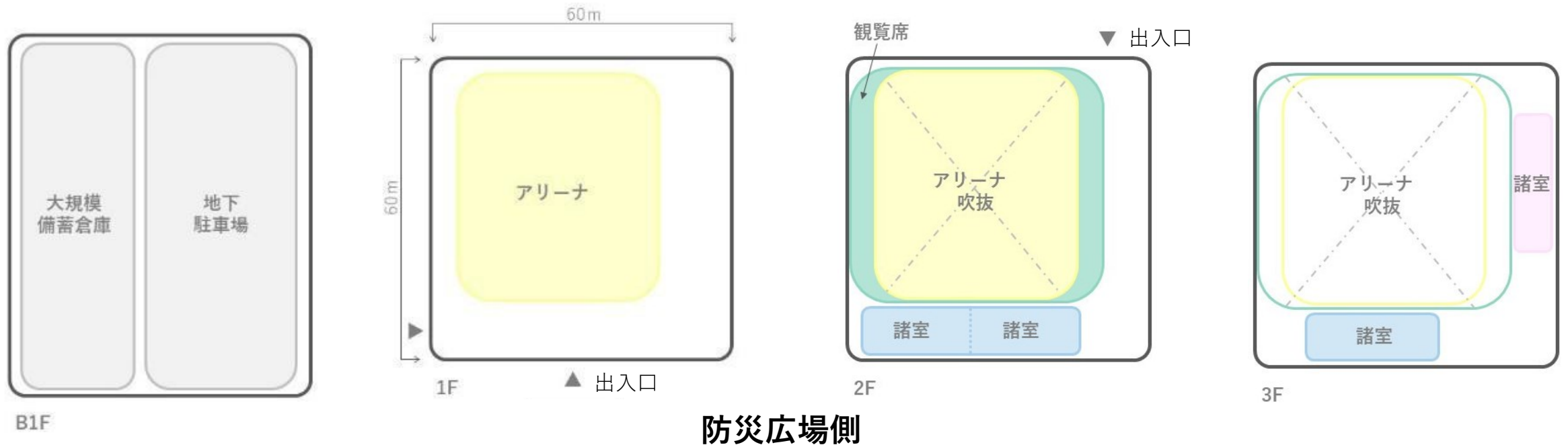
※想定規模、機能は今後の検討により変更する可能性があります。

□体育館の概要

以下の基本的な考え方にに基づき、想定した平面計画は下記のとおりです。

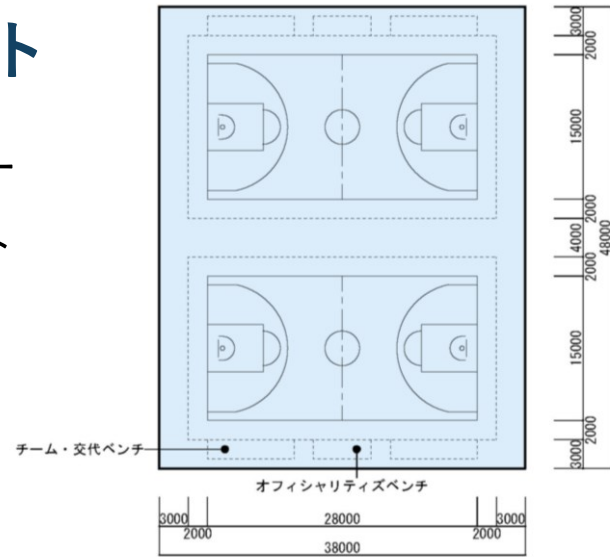
- 施設利用者の利便性に配慮して、1階に管理諸室、更衣室を配置。
- 公園全体の賑わい演出、公園と体育館の一体利用に配慮して、1階エントランスは防災広場側に配置。
- 災害時の物資搬入があるため、アリーナは車寄せから直接資材搬入できる位置に配置。
- 公園利用者、近隣住民の住環境に配慮して、駐車場は地下に配置。

体育館北広場側

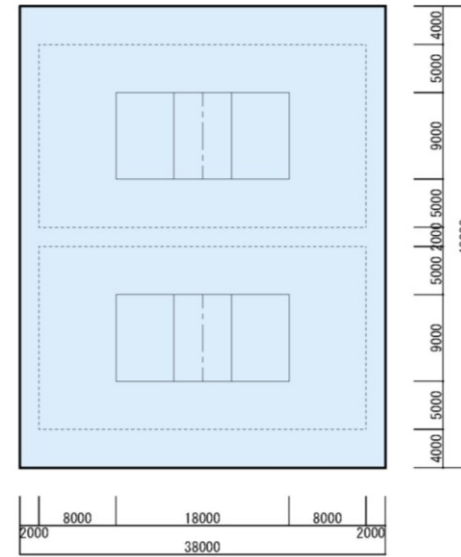


(9) アリーナレイアウト

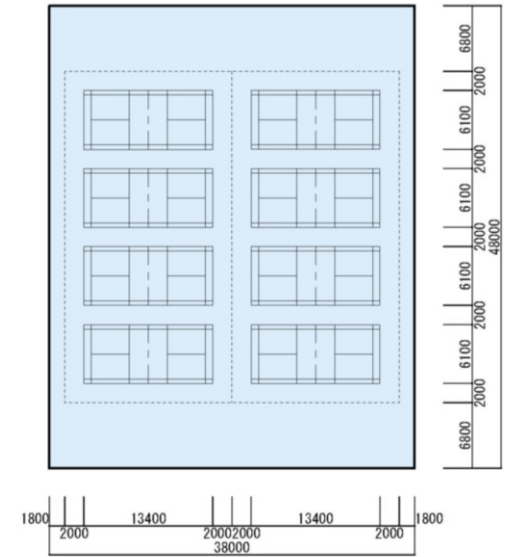
想定しているアリーナのコートレイアウトは右記のとおりです。



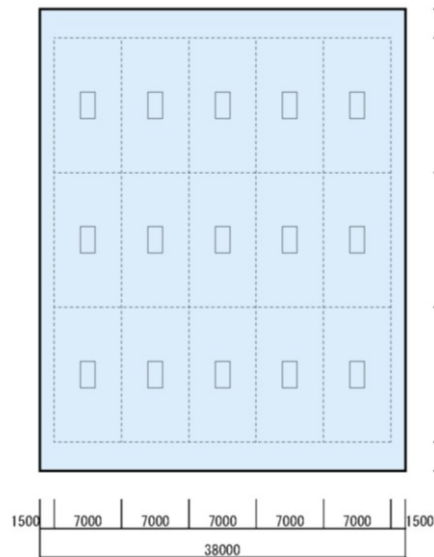
■公式バスケットボール 2面



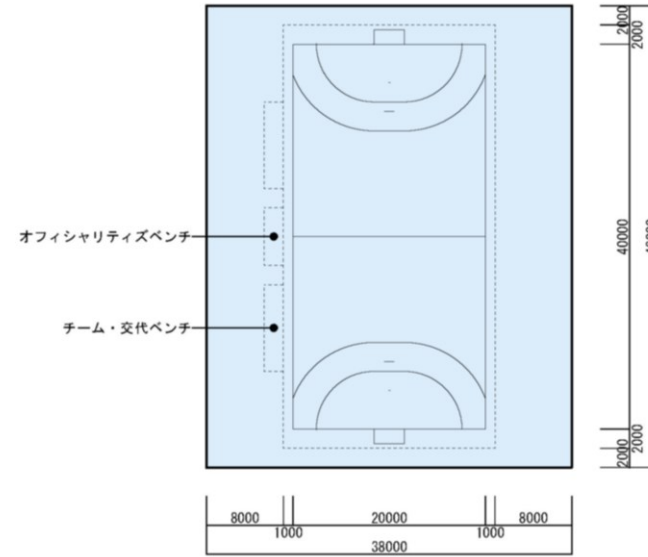
■公式(国際)6人制バレーボール 2面



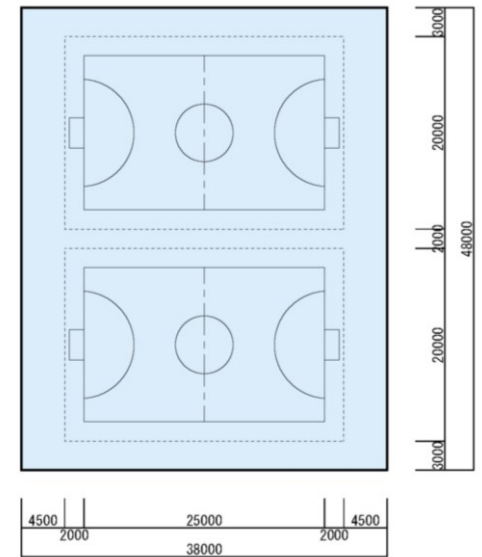
■公式バドミントン 8面



■公式卓球 15面



■公式ハンドボール 1面



■フットサル(国際試合以外) 2面

2. 施設計画の検討（多目的広場）

(1) 施設の仕様

1) 施設の面積

48m×56m程度（フットサルコート2面分）の面積を確保します。

2) コートサーフェス（舗装仕様）

サッカー・フットサル、キャッチボールやボール遊びなど、多目的での使用を想定します。

コートサーフェスは多様なスポーツが実施可能なこと、及び年間を通して利用可能なコンディションを維持すること、近隣への土埃等の影響がないことを踏まえ人工芝（ミドルパイル・ショートパイル）で検討します。

なお、人工芝のマイクロプラスチック流出等の環境問題に配慮し、施工時に流出抑制対策を施すことを検討します。また、メーカーの環境配慮型製品の開発状況を引き続き注視していきます。

3) 防球フェンス

多目的広場外にボールが飛んでいかないよう、十分な高さの防球フェンスで外周を取り囲みます。

2. 施設計画の検討（多目的広場）

(2) 運用方針

多目的広場は地域のスポーツ利用者（フットサル・サッカー・その他）への貸し出しによる利用と地域の子どもたちがボール遊びを行うなど幅広い方の利用を両立させる運用を検討します。

(3) 環境の検討と対策方針

多目的広場は周辺地域が住宅街であることから声やボールなどの跳ね返る音、夜間における照明などによる近隣住民の生活環境に配慮する必要があります。

多目的広場は道路と十分な離隔をとり、敷地境界において環境配慮基準を下回る想定で計画をしていますが、それに加え、住宅地側となる東側には遮音フェンス等を設置することにより更なる音圧低下を行います。

また、広場の利用は21時までとし、夜間の近隣住民の生活環境に配慮します。



遮音フェンスのイメージ

1. 駐車場の規模の設定

スポーツ施設における想定必要台数から日常的な使用台数は50~70台程度とします。そのうち10台程度は、車いす利用者などのスペースとして確保します。

区民体育大会等の開催時は、公共交通機関での来場を呼びかけることを基本としながらも、車での来場者が増えることによる入庫待ちの渋滞ができることを防ぐために、地上部を含め、増設可能なスペースを確保します。

駐車場の出入口には誘導員を配置するなど、安全を最優先とした対応を行っていきます。

2. 駐車場の配置

歩行者や施設利用者等の安全面に配慮し、道路から駐車場までの動線を極力短くとること、世田谷通りに比べて交通量が比較的少ないことを踏まえて、駐車場の出入口は西用賀通り沿いに設けます。

地上部の有効活用や車椅子利用者が乗降時に風雨等をしのげるようにするなどを考慮し、計画地の地形を活かしながら体育館地下に整備します。

夜間の安全対策

近隣が住宅地であることから夜間の安全対策を行う必要があり、警備員による公園内の巡回警備や防犯灯の設置を行います。



公園巡回警備

出典：アスカ警備株式会社

周辺道路の安全対策

既開園区域と拡張区域の間の道路の安全な横断など、公園の利用上、必要な箇所の安全対策について、交通管理者と協議を行います。

また、公園内においても、広い出入口の設置、見通しの確保、出入口に車止めを設けるなど、安全対策を行います。

概算事業費

本基本計画に記載されている内容を基に算出した概算事業費は以下の通り、総額約110億円を見込んでいます。

項目	数量	単価	小計（税込）
①公園設計費	—	—	94百万円
②公園整備費	26,860m ²	41.8千円/m ²	1,123百万円
③設計監理費（体育館）	—	—	251百万円
④体育館建設費	12,800m ²	696千円/m ²	8,909百万円
⑤体育館土地造成費	4,140m ²	164千円/m ²	677百万円
合計（税込）			11,054百万円

※ 体育館建設費は、他自治体の類似構造の体育館の価格から、平米あたりの単価を算し、算出しています。

※ 今後、基本計画図の作成に伴い概算工事費を精査していきます。

※ P F I等の官民連携手法導入可能性調査により、経費の削減率を含め事業手法の優位性について検証していきます。

※ 公共施設のZ E B化については、今後策定します「公共建築物Z E B指針」を踏まえ計画していくため、現時点では上記概算には含んでいません。

※ 特定財源（防災・安全交付金（都市公園等事業）、特別区都市計画交付金等）を活用するなど、財源の確保に努めます。

事業手法の検討について

現在、**官民連携手法**の導入可能性について、調査・検討を行っております。

官民連携手法とは・・・

行政が行う事業について、民間の持つ多種多様なノウハウ・技術を活用することでサービスの向上や財政資金の効率化を図る手法のことです。

事業手法のイメージ

○従来手法

区が「仕様」を定めて分割して発注する

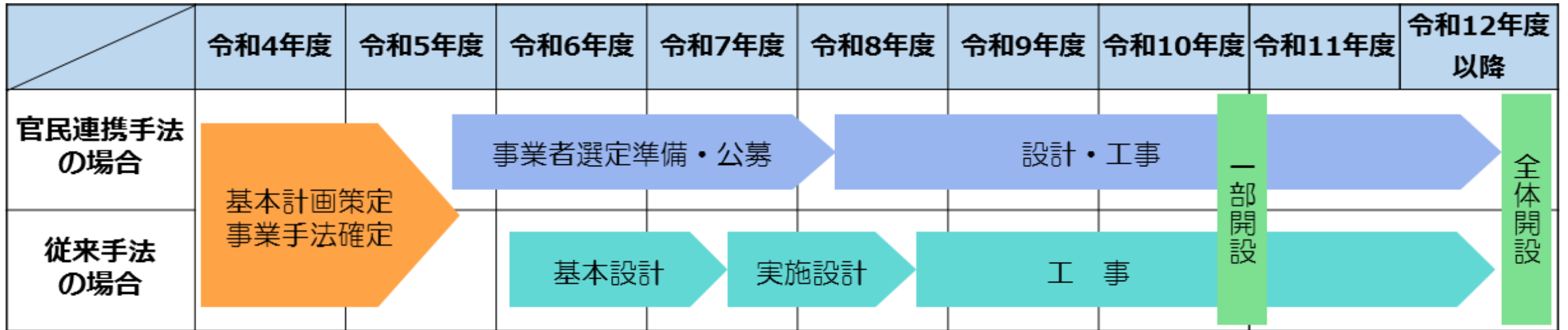


<想定されるメリット>

- ・公園・スポーツ施設を一体的かつ効率的に管理・運営できる。
- ・設計段階から民間事業者の管理・運営のノウハウを生かすことができる。
- ・民間事業者のアイデアやノウハウを活かすことによりサービス向上と事業コストの削減が可能。

上用賀公園拡張事業では、公園サービスの向上等を目的に官民連携による事業手法の導入について検討を進めています。今後、民間事業者へのヒアリング等詳細な調査を実施し、導入の可否を決定していきます。

また、当初、令和10年度以降の開設としていましたが、整備する規模の状況等から、令和12年度の工事完了をめざします。ただし、段階的に開設していくことも検討し、公園部分については令和10年度頃からの供用開始をめざします。



3. 基本計画策定まで

基本計画の策定までの見通し

基本計画の策定に向けて、段階を踏んで進めていきます。

骨子

- 基本的な考え方
- 施設配置

基本計画策定に向けた取組方針や、施設配置の考え方をとりまとめました。

意見交換会

基本計画(素案)

- 具体的な導入機能

基本計画のコンセプトや導入機能などの施設計画について、とりまとめました。

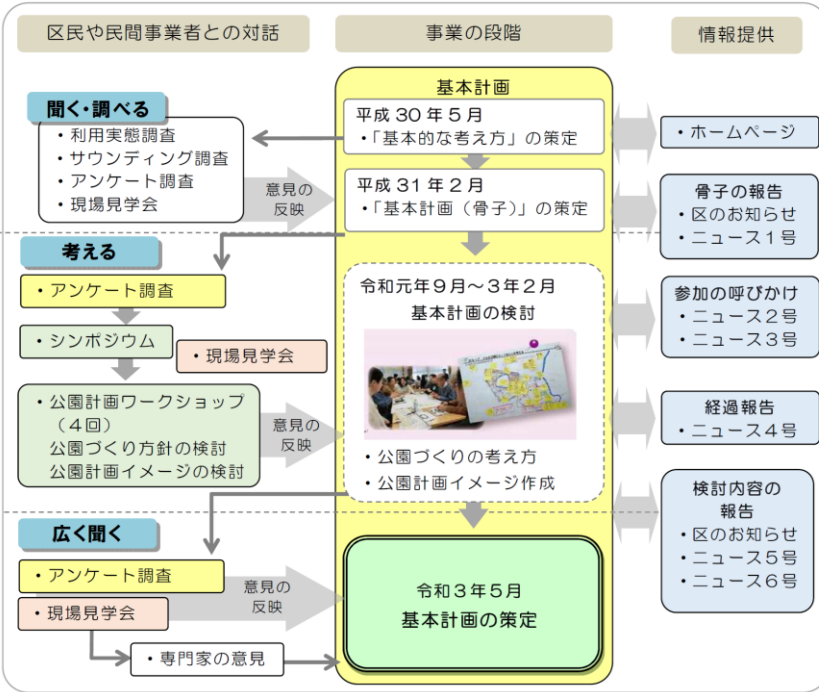
意見募集
意見交換会

基本計画(案)

本意見交換会や現在実施中の意見募集を経て基本計画(案)を作成します。

現在

①これまでの検討経緯



②計画の基本となる平面案



▲土地利用計画図



▲イメージパース図

③導入施設

① 草地の広場

広さをいかし、のびのびゆったりとすごすことができる広場とします。また、一部に生きものすみかとなる草地をつくります。



のびのびできる原っぱ
(南池袋公園)

② 明るいみどり

木々や土に触れて、自然の遊具で思いっきり遊んだり、心地よい木陰の中で、思い思いに過ごすことができる明るいみどりの空間をつくります。

③ 濃いみどり

これまで育まれたみどりを活かし、住民参加での活動や自然観察、体験に取り組み、野鳥や昆虫、植物などの生きもの拠点となる森をつくります。

④ みどりのエントランス

既開園区域と拡張予定地、等々力溪谷がみどりでつながるエントランスをつくります。

草地の広場やみどりででの活動のイメージ



花壇づくり
(二子玉川公園)



昆虫観察
(万博記念公園)



落ち葉だめづくり
(成城みつ池緑地)



自然体験イベント
(二子玉川公園)

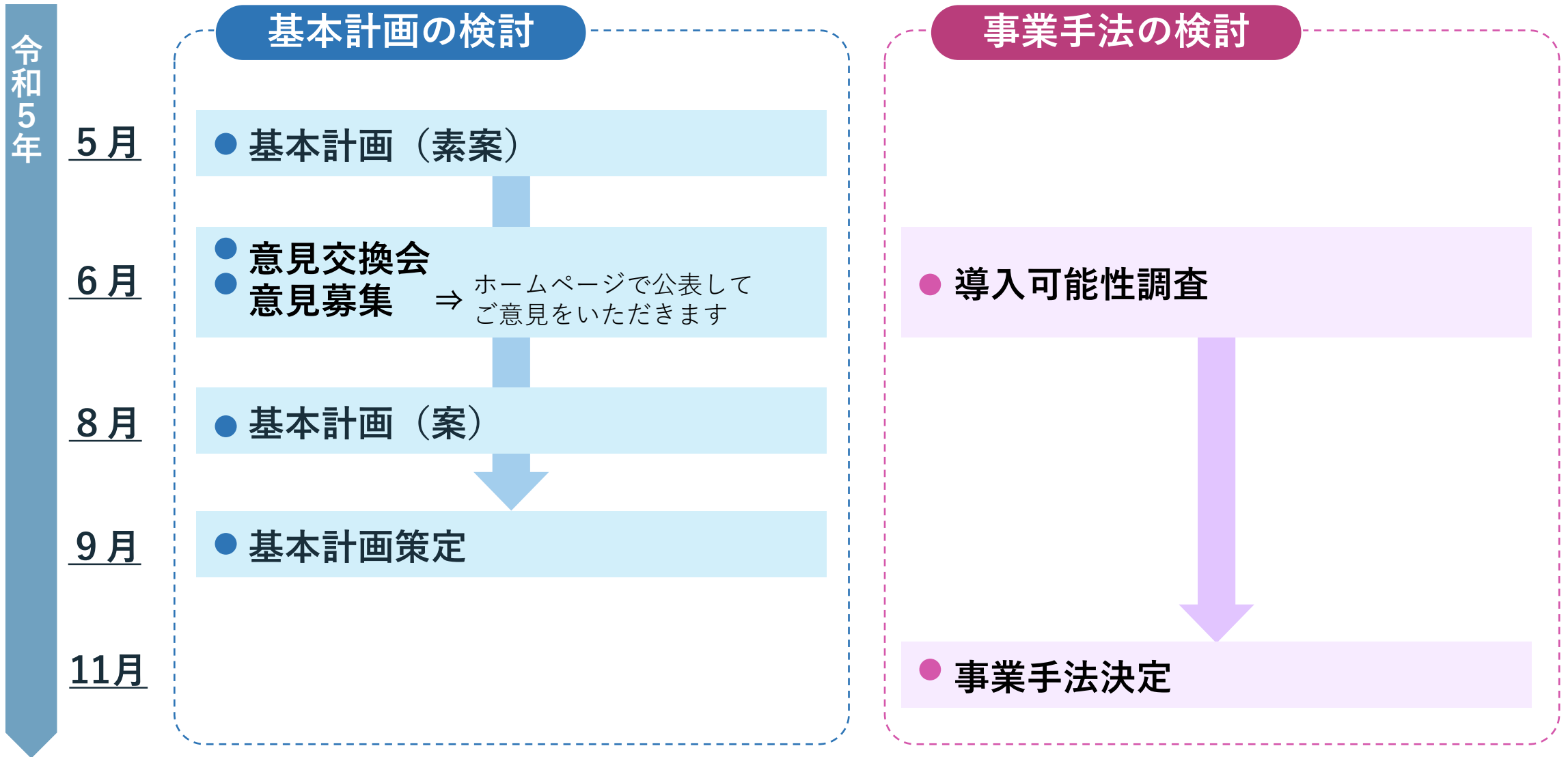


生きものすみかづくり
(桜丘すみれば自然庭園)



樹林地の管理
(成城みつ池緑地)

4. 今後の進め方



5. 意見交換

6. 参考

施設の配置について	<ul style="list-style-type: none">・多目的広場をメインエントランス側に拡張してはどうか・世田谷通り沿いをメインエントランスにした場合、渋滞が発生するのではないか・体育館は関東中央病院側に作ってほしい（住宅が近い）
施設について	<ul style="list-style-type: none">◆公園に関すること<ul style="list-style-type: none">・バリアフリー・車いす利用についても考慮してほしい・敷地全体を使った散歩道やランニングコースがあるといい・管理された広大な芝生広場が欲しい・公園内の喫茶、食事スペースは是非作ってほしい・防災拠点機能、豪雨対策、雨水貯留施設等に力を入れた公園作りをしてほしい◆体育館など建物・スポーツに関すること<ul style="list-style-type: none">・できるだけ周辺環境やみどりに溶け込むよう木材等を使ったデザインなどを検討するべき・ダンスができる防音性を備えた集会室が欲しい・障害者スポーツでも利用できるようにしてほしい・建物は高さをなるべく抑え、できるだけ地下化してほしい◆防災に関すること<ul style="list-style-type: none">・ヘリポートについても最初から想定していただき、安全安心の大きなプロジェクトとして行ってほしい・多くの住民のための公園、広域避難場所としての機能を重視するべき◆駐車場に関すること<ul style="list-style-type: none">・車の出入りは西用賀通り沿い・駐車場沿いとし、公園内を車が通らないようにするべきではないか。◆その他<ul style="list-style-type: none">・子ども食堂の運営団体も利用できるようにしてほしい。・ランドスケープとしての水景や透水舗装、体育館に降った雨水の再利用等を検討してほしい・世田谷通りの安全性についても検討してほしい。

<p>施設の運営について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進型の公園として、関東中央病院が横にあるのがおおきなポイントとして考えられる。ヘリポートのみでなく、ソフト面での連携も模索してほしい ◆防犯・安全対策に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・既存開園地との間の道路の安全性についても検討してほしい ・常時開放するのであれば24時間巡回体制を整えるべき ◆駐車場や車両の通行に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場入口が西用賀通り沿いにできるのであれば、待機車両等で救急車両の邪魔にならないようにすべき ・世田谷通りに横断歩道を設置してほしい ・既存公園との横断箇所には車が減速する仕組みを作るべき ◆施設整備・運営に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・運営について、PFIを進めるとエントランスもスペースがあることによって民間ノウハウが活かせるのでいいと思う。ただし、民間と区のやり取りの中で地元は排除されてしまうのか。民間業者選定のプロセスに地元住民が入るという方式でやるといいのではないか。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画全般について <ul style="list-style-type: none"> ・今回の意見交換会に子供がいないが、実際に遊ぶ子供たち、近隣の学校などから意見を拾う動きがあるといいのではないか ・世田谷Payなどのアプリを機能拡張し、歩数・距離をカウント、イベント参加で得点が獲得できるなどしたら、公園も活かせるし地元も盛り上がるのではないか ・医療、ヘルスケア、駐車場、防災などの面で関東中央病院とは密に連携してほしい ・開園時期のデジタル環境を意識したインフラづくりをしてほしい ◆暫定利用に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・暫定整備のお知らせがあるが、場所はどのあたりになるのか。 ・ダスト舗装とはどのような舗装か